

# 平成26年度 相談支援・就業支援セミナー

自分らしく、ともに生きるーインクルーシブな社会の実現をめざしてー

2014年1月20日、日本は障害者権利条約を批准しました。この条約は、「どこでだれと生活するかを選択する機会」や、「地域生活に必要な在宅サービス、居住サービスの利用機会の保障」など、障がいのある人もない人も皆が自分らしくともに生きることのできるインクルーシブな社会の実現を目指しています。

また、社会構造の変化に伴い、経済的困窮者や社会的孤立の状態にある人たち、難病の方々など、何らかの障がいがある中で地域生活を送る人たちが増加し、ますます社会福祉にかかる期待は増大し、だれもが暮らしやすい地域社会の構築を求める声が大きくなってきています。

本セミナーでは、基調講演として元厚生労働省大臣官房審議官の古都賢一氏をお招きし、2000年の「社会福祉基礎構造改革」から現在までの社会福祉制度の大きな流れ、これからの社会福祉事業の向かうべき方向性や、それを担う社会資源、とりわけ社会福祉法人に求められる役割などについてお話しいたします。

更に2015年4月から、原則的には障害福祉サービスの支給決定にあたって、全員に対してサービス等利用計画の提出が求められることとなりますが、実態として相談支援体制はまだまだ脆弱であり、計画作成が間に合わず、利用者がサービスを受けられないといった事態も懸念されています。

こうした厳しい状況の中で、今回のテーマとして掲げております「自分らしく、ともに生きるーインクルーシブな社会をめざしてー」いくためには、相談支援や生活支援、就業支援など、「地域で暮らす」ための各種支援の一層の充実が必要です。

相談支援従事者や就業・生活支援センターの職員をはじめ、このセミナーに関心のある多くの方々のご参加をお待ちしています。

- 日 時 ● 平成26年12月10日(水)・11(木)
- 会 場 ● ホテルグリーンタワー幕張  
(千葉県美浜区ひび野2-10-3)
- 主 催 ● 公益財団法人 日本知的障害福祉協会 相談支援部会
- 対 象 ● (障がい児・者の相談支援・就業支援に携わる関係職員等)
- 定 員 ● 400名
- 参加費 ● セミナー 11,000円 / 交流会 8,000円

## 日 程

### 第1日目【12月10日(水)】

12:00 12:30 12:40 13:40 14:40 15:00 17:00 17:30 19:00

受付	開会式	行政説明	講演	休憩	シンポジウム	移動	交流会
----	-----	------	----	----	--------	----	-----

### 第2日目【12月11日(木)】

9:00

12:00

- 第1分科会：広義の相談支援(ソーシャルワーク)と狭義の相談支援(サービス等利用計画)
- 第2分科会：基幹相談支援センター・委託相談支援事業所・指定特定相談支援事業所の役割
- 第3分科会：障がい者の雇用をどう進めるか、地域でのくらしをどう支えるか

## 第1日目 12月10日(水)

I

### 行政説明 12:40～13:40

『サービス等利用計画の完全実施をめざして』(仮題)

鈴木 智敦 氏

(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 相談支援専門官)

II

### 講演 13:40～14:40

『これからの社会福祉事業の在り方と地域福祉の展望』(仮題)

古都 賢一 氏

(独立行政法人 国立病院機構/元厚生労働省)

III

### シンポジウム 15:00～17:00

『地域で生きる

～サービスの質の向上とこれからの相談支援・就業支援・生活支援』

障害福祉サービスは、利用者が自ら選択し、利用することを基本とした利用契約制度を基本としています。しかし障がい者、特に知的障がい者の多くは、自らサービスを選択し利用することが苦手です。それだけに、利用者本人に寄り添って、サービスについての情報を提供し、本人の意思に沿ってサービスを選択し、支援計画を作成する相談支援の役割が極めて重要です。

「地域で生きる」をキーワードに、相談支援、生活支援、就業支援の現場から、それぞれの実践、さらに「いつでも、どこでも、だれしものが、必要な支援を受けることができるインクルーシブな社会」を実現するための地域づくりについて考えます。

#### シンポジスト

菅 洋一 氏(山形県社会福祉事業団 希望ヶ丘地域福祉支援センター所長)

富岡 貴生 氏(貴志園園長/相談支援部会副会長)

大友 愛美 氏(東川町共生サロンこころん 副理事長)

#### 助言者

鈴木 智敦 氏(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 相談支援専門官)

#### コーディネーター

雄谷 良成 氏(社会福祉法人佛子園理事長/相談支援部会委員)

## 第2日目 12月11日(木)

### 第1分科会

#### 広義の相談支援(ソーシャルワーク)と狭義の相談支援(サービス等利用計画)

委託相談支援ではかかわりのなかった障がい者(家族)が、計画相談を通して相談支援にかかわる機会が増えました。相談支援の目的がサービス等利用計画作成であっても、作成過程で利用者の夢や希望、葛藤に気づき、さらにモニタリングで定期的にかかわることで、相談しやすい関係ができるようになりました。「本人の想いに寄り添いながら 希望の実現に向けた相談支援とはどうあるべきか」について考えます。

講演 9:00~10:00

『相談支援の今とこれから』

講師：菊本 圭一 氏(日本相談支援専門員協会事務局長)

シンポジウム 10:10~12:00

テーマ 『本人の想いに寄り添いながら 希望の実現に向けた相談支援とはどうあるべきか』

シンポジスト	角田 純一郎 氏(尚恵学園 コスモス管理者)
//	岡西 博一 氏(丹沢自律生活センター総合相談室室長)
//	後藤 政己 氏(コミュニティはうす明日管理者/相談支援部会委員)
助言者	菊本 圭一 氏(日本相談支援専門員協会事務局長)
司会者	富岡 貴生 氏(貴志園園長/相談支援部会副部長)

### 第2分科会

#### 基幹相談支援センター・委託相談支援事業所・指定特定相談支援事業所の役割

計画相談支援の利用を促進するためには、市区町村と事業所が一体となる必要があります。そのうえで、サービス等利用計画やモニタリング等の件数を適切に見込み、管内相談支援事業所職員の増員や新規事業所の開設の働きかけを行うなど、計画相談が行える体制を構築することが重要です。さらに相談支援専門員の質の向上や困難事例への相談を行うバックアップ体制を整備して行くことも望まれます。相談支援の充実を図るための基幹相談支援センター・委託相談支援事業所・特定相談支援事業所の役割と、市町村における相談支援体制のあり方について検討します。

講演 9:00~10:00

『計画相談の取り組み 市と一緒に悩んだ3年間』

講師：田中 晃 氏(相談センターゆいまーる所長)

シンポジウム 10:10~12:00

テーマ 『市町村における相談支援体制の機能強化について』

シンポジスト	吉田 展章 氏(日本相談支援専門員協会理事)
//	藤川 雄一 氏(埼玉県相談支援専門員協会代表理事)
//	戸田 健一 氏(特定非営利活動法人たねつと統括責任者/相談支援部会委員)
助言者	田中 晃 氏(相談センターゆいまーる所長)
司会者	八柳 律子 氏(社会福祉法人愛泉会広報企画部長/相談支援部会委員)

## 第3分科会

### 障がい者の雇用をどう進めるか、地域での暮らしをどう支えるか

障がい者雇用の状況をみると前年度実績は新規求職件数、就職件数ともに過去を上回り、障がい者雇用に関する意識が年々高まってきていることを示しています。こうした流れをさらに促進していくためには、難病のある方等を含めた障害特性に応じた支援方法のスキルアップや職場定着の強化を図るとともに、当事者はもとより各支援機関、雇用先との協力体制をより充実させていくことが重要です。ここでは、当事者の地域生活を支える「雇用」と、それにつながる安定した「暮らし」の支援について考えます。

**行政説明** 9:00～10:00

『障害者の雇用の推進と障害者就業・生活支援センターの役割』（仮題）

山科 正寿 氏

（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援専門官）

**シンポジウム** 10:10～12:00

テーマ 『障がい者の雇用をどう進めるか、地域での暮らしをどう支えるか』

**シンポジスト** 中村 文久 氏（障害者就業・生活支援センターさつき所長／相談支援部会委員）  
// 高木 加津枝 氏（出雲障がい者就業・生活支援センターリーフ所長／相談支援部会委員）  
// 渡邊 哲郎 氏（栃木県立栃木特別支援学校教諭・進路指導主事）  
**助言者** 山科 正寿 氏（厚生労働省）  
**コーディネーター** 小林 繁市 氏（日本知的障害者福祉協会相談支援部会部会長）

### 【大会内容に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 相談支援・就業支援セミナー 係

（長沼・三浦）

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX 浜松町ビル 6階

TEL 03-3438-0466 FAX 03-3431-1803

### 【お申込みに関するお問い合わせ先】

株式会社 日本旅行 東京法人・コンベンション営業部

（山口・西山）

〒160-0017 東京都新宿区左門町 16-1 四谷 TNビル 4階

TEL 03-5369-4535 FAX 03-3225-1009

# 平成26年度 相談支援・就業支援セミナー 参加・宿泊申込書

表記セミナーの参加、交流会及び宿泊の申込み受付は、日本旅行が行います。別紙の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にてお申込みください。

1. **参加費** セミナー費：11,000円 交流会費：8,000円

## 2. お申込み方法について

- ①別紙の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、日本旅行までFAX又は郵送にてお申し込みください。
- ②到着後、7日以内でFAX又は郵送にてご回答をお送りいたします。
- ③申込締切日【平成26年11月18日(火)必着】
- ④セミナー費、交流会費、宿泊費は、「参加・宿泊申込書」の回答欄に記載いたしますので内容ご確認の上、お振込みください。【振込期限：平成26年11月21日(金)】
- ⑤お申込み頂いた方には、参加券等(セミナー参加券、交流会券、宿泊券)をお送りいたします。  
参加券等の発送は、平成26年11月27日(木)頃の予定です。
- ⑥セミナー費、交流会費のお振込後のご返金は行いません。参加者の方が欠席した場合は、後日資料をお送りいたします。

## 3. 宿泊について(募集型企画旅行)

- (1) 宿泊日 平成26年12月09日(火)前泊・12月10日(水)当日泊  
\*アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)は当日泊のみのご案内となります。
- (2) 宿泊利用ホテル(お一人様一泊あたり)\*ツインご希望の場合は同室者名をご記入ください。

ホテル名	交通	申込 記号	部屋タイプ	ご旅行代金 (宿泊代金)
ホテルグリーンタワー幕張	海浜幕張駅徒歩約3分 *会議会場ホテル	A	シングル (1名1室利用)	10,200円
		B	ツイン (2名1室利用)	9,100円
アパホテル&リゾート 〈東京ベイ幕張〉	海浜幕張駅徒歩約5分	C	シングル (1名1室利用)	9,700円

- ◇ご旅行代金に含まれているもの  
宿泊代金(朝食、バス・トイレ付き)、及び、それに伴うサービス料、消費税。
- ◇旅行代金に含まれていないもの  
各都市～ホテルまでの交通費、その他個人的な利用(ホテル電話代等)に伴う費用。
- ◇ご注意事項  
※添乗員、現地係員の同行しない個人旅行です。このご旅行では約款に定める旅程管理は行いません。ご旅行に必要なクーポン、確認書等は事前にお渡ししますので、旅行中の諸手続きはお客様自身で行っていただきます。  
※申込み状況によっては、締切日前に満室となる場合もございますので、ご了承ください。  
※ホテルにて朝食を取られなかった場合も、その分のご返金はございません。  
※この旅行条件は平成26年9月22日現在の運賃・料金を基準といたします。  
※当社が契約の締結を承諾し、ご旅行代金をお振込みいただきました時点で、募集型企画旅行の契約締結となります。  
※団体グループの場合のお申込は、施設連絡担当者を契約責任者として、契約の締結及び解除に関する取引を行います。  
※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前に必ずご確認の上お申込ください。

- (3) 宿泊取消について \*お取り消しの場合、下記の取消料を申し受けます。

取消日	取消料	取消日	取消料	取消日	取消料
3日前～前日	20%	宿泊当日	50%	無連絡の場合	100%

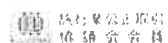
- (4) 交流会はお申込後、11月28日(金)以降のお取消(ご返金)は出来ません。予めご了承ください。

【個人情報のお取り扱いについて】当社は、参加申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、ご参加者との間の連絡のために利用させていただきます。お申込みいただいた宿泊において宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。その他当社の個人情報の取扱いに関する方針等についてはホームページ(<http://www.nta.co.jp>)でご確認ください。

■旅行企画・実施■ お申込み・お問合せは、  
㈱日本旅行 東京法人・コンベンション営業部  
〒160-0017 東京都新宿区左門町1-6-1 四谷TINビル4階  
総合旅行業務取扱管理者：山口 圭介

観光庁長官登録旅行業第2号 一般社団法人 日本旅行業協会正会員  
営業時間：月曜～金曜 9:30～17:30 (土日祝祭日はお休み)  
TEL 03-5369-4535 / FAX 03-3225-1009  
担当：山口時子・西山

\*総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を助ける営業所での取組の責任者です。  
この旅行の契約に関し、担当者からの説明に不明な点がありましたら、ご連絡ください。  
総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。 ソリ14-096



# 平成26年度 相談支援・就業支援セミナー 参加・宿泊申込書

\*参加・宿泊申込、所定欄にもれなくご記入ください。

申込日 月 日

施設・事業所名										
都道府県名		連絡担当者名								
連絡先 参加券等 送付先	(郵便番号) 〒									
		TEL : FAX :								
参加者氏名 <small>*加がでががを記入してください</small>		性別	○印をしてください *宿泊で2泊希望の場合は両日とも丸印をつけてください。						お部屋の ご希望	
			職名	分科会	交流会	宿泊申込				
					記号	前泊	当日泊			
ががが)		男		第1分科会	参加		12/09	12/10	禁煙	
		女		第2分科会	不参加		(火)	(水)	喫煙	
				第3分科会						
ががが)		男		第1分科会	参加		12/09	12/10	禁煙	
		女		第2分科会	不参加		(火)	(水)	喫煙	
				第3分科会						
※同室希望者がいる場合は、こちらに氏名をご記入ください。 ががが)						*禁煙・喫煙のご希望は、満室等により ご希望に添えない場合もございますので 予めご了承ください。(当日のご案内となり ます。)				

【お客様の個人情報の取扱】

1 当社では、お客様からご提供いただいた個人情報を厳重に管理し、申込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との間の連絡及びセミナー主催者への提供ならびにこれらに付随する業務を行うために利用します。2 その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては、当社ホームページ (<http://www.nta.co.jp>) をご参照ください。3 個人情報の取扱いに関する問合せ先【株式会社 日本旅行東京法人・コンベンション営業部 (担当: 和田尚孝) TEL.03-5369-4510】\*ここから下は記入しないでください。

【回答記入欄 (弊社記入)】

- \*お振込みの際は、右欄の「お振込み番号」をお振込み名の前につけてください。
- \*ご参加に伴う費用 (下記の合計金額をお振込みください。)
- \*分科会の決定は発送時にお伝えいたします。

お振込み番号

セミナー参加費	交流会費	ご旅行代金 (宿泊代金)			合計金額
11,000円× 名	8,000円× 名	円×	泊×	名	
合計: 円	合計: 円	合計:		円	円

【通信欄】

お客様のご宿泊ホテルは下記の通りご確認ください。 <input type="checkbox"/> A: ホテルグリーンタワー幕張 シングル <input type="checkbox"/> B: ホテルグリーンタワー幕張 ツイン <input type="checkbox"/> C: アハホテル&リゾート(東京ベイ幕張) シングル	弊社受付担当
--	--------

申込先 FAX : 03-3225-1009 担当 : 山口時子・西山